

## 能代高校「学校林」の経緯



### 有地貸与の申し込

八十年紀念事業実行委員会事務局 松谷健

S 29.11.1 檜山町(町長・野呂惇一郎)が、秋田県教育委員会へ「学校林」用地にかかる「分取

	H	S	S
12	36	35	
.	.	.	
4	11	11	
.	.	.	
20			11
秋田県教育委員会から「学校林」		松三千本、植栽	
の秋田県林務部への所管換の通		杉二千四百五十本、補植	
知。		杉四千本、補植	
杉二千本、補植		杉二千本、補植	

昭和二十九年十一月二十二日、創立三十周年

年記念事業のひとつとして檜山に「学校林」が植樹され、その後増植・下刈などが関係者・生徒によってある期間実施されました。平

成十二年十二月十二日に能代高校「学校林」は秋田県財務部に移管されました。同窓生の中から記念誌に「学校林」について「思い出の記」のようなものを載せることができないかとの声がありました。筆者（三十五期、昭和四十年卒）は「学校林」のことを先生や先輩から話に聞いていましたが、私達の高校時代には「学校林」の植樹や下刈などで檜山に行つたことはありません。寄稿してくれる当該者が見当らず年譜のみを次に掲載します。

S 29.11.1 秋田県教  
林承諾書」を提出  
育委員会と檜山町  
が「地上権設定契約証書」を締結。  
(契約内容)

所在地 山本郡檜山町檜山字  
蟹澤七番の一の内

月一日から昭和七十九年十月  
三十一日

植林年度 昭和二十九年秋植

植林面積 六町五反一畝歩

苗数 杉五千三百本、松千本  
伐採期間 昭和七十五年(一七

舊約全書

・ 分收割合 檜山町2 秋田県  
教育委員会8

植林実施（完了日　十一月二十  
二日）

杉五千三百本、松千本

杉一千本、補植

S29・10・13 能代高校(校長・加藤正一)が、檜山町へ「学校林」用地として、町

年譜